

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名: 「シス×ブラ! ~絶対うまいっていわせてやんよ~」

テーマ: 「ブラコン気味なのに、兄が料理をおいしいといってくれなくて「ぐぬぬ」な美少女」

キャラクター

50

ストーリー

45

テーマ(設定)

45

文章力

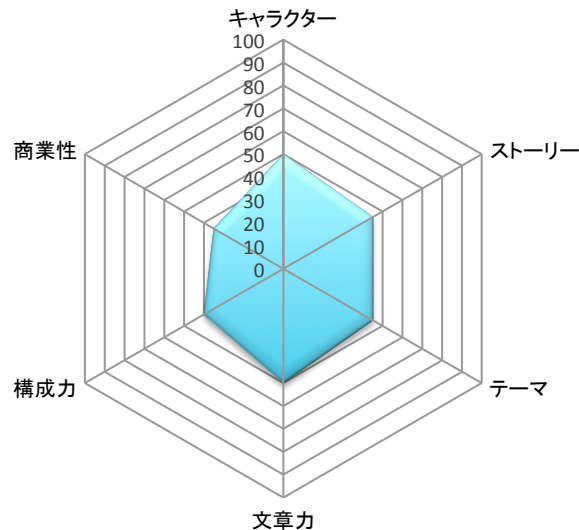
50

構成力

40

商業性

35



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語が都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・面白いのだが、丸にあと一点たりない丸点といった印象(面白かったので使いたかった)。恐らくあとひと味足りないというよりは、味を足し過ぎてしまったからではないかという点に原因があるように思われる。

・音楽の話が本作の中で文字量が多くなってしまっているため、正直フューチャー・エンジンの良さを説明するシーンなどはもっと省けたのではないかと感じる。(リフやフィルインといった音楽も読み手によってはさっぱり分からないため、そういう意味でも更に書き込みすぎず、そこで節約した文字量を妹にまつわるエピソードに回した方が良かったのではないかと)。また登場人物が4人と、50枚で仕上げるには少し多いという点も見受けられた。恐らく二組の兄妹を対比した関係性にもっていきかったという背景があるように思われるが、音楽の話もあるため50枚ではかなりきつい。個人的には乙夏が可愛くてよかったと感じたので、あまり料理に関わってこず登場場面も少ない百永は心苦しいが登場させなかった方がよかったのではないかとというのが正直な感想。

・恐らく作者様の癖として、「作品を盛り上げるためにこの設定を入れたい」というよりは、例えば「盛り上がるかはわからないけど、自分は音楽が好きだからとりあえず音楽の設定は入れたい」といった、ある種のエゴを捨てていない面があるのではないかと感じた。基本的な文章力や描写力、表現力は明らかに平均以上であると思われるので、もしかしらこれに「作品を面白くするために自分の頑張った設定を破壊する覚悟」が備われば構成的な面での実力アップが図れるのではないかと。

合計加点ポイント 0

総得点: 265 / 600

B方式総合得点: 11704 点